

## 平成24年11月第14回教育委員会定例会

【日 時】平成24年11月28日（水）午後1時30分～午後3時35分

【場 所】北栄町役場大栄庁舎 第4会議室

【出席者】福光純一委員長・河本恒夫委員長職務代理者・齋尾暁美委員・磯江典子委員・岩垣教育長・田中教育総務課長・西村生涯学習課長・岩田指導主事・桑本指導主事・大庭教育総務課室長

### 【議事日程】

- 1 会議録署名委員の指名 河本委員、齋尾委員を指名
- 2 行政報告  
教育長
  - ・東伯郡内教育長人事について
    - ※三朝町 朝倉教育長、琴浦町 小林教育長 いずれも新任。
  - ・11月22日鳥取県教育行政連絡協議会について
    - ※県から平成25年度予算説明、いじめ調査、協約締結。  
町村は知らない。初めて聞くことばかり。内容は町村のかかわりが必要なもの。  
町村からは、国への働きかけ、少人数学級、学力向上、不登校対策を。
  - ・11月7日B&G海洋センター活性化会議について
    - ※B&G財団の財政の減。現在、基金を取り崩して行っている。会議の整理統合画を行っていく。
  - ・生涯学習交流会について
    - ※家庭、学校、地域で取り組んでいく。
  - ・11月22日県・市町村連絡協議会について
    - ※平成25年度予算。  
少人数学級と学力向上の関連についてはどうか。  
県が言うのはどうか。あおることになるのではないか。  
いじめ対策：ハイパーQ-Uの実施。平成24年度限り。
  - ・支援判定会議について
    - ※こども園の配慮が必要なこどものリストにより、加配職員の配置の参考とする。
  - ・教職員の事故について
  - ・教育連絡会について
  - ・「とっとり教育の日」について
    - ※退職校長会が「とっとり教育の日」の制定について賛同してほしいと要請があった。  
湯梨浜町：保留、倉吉：賛同  
(委員) 行政にかかわらず、やってくださいではなく、自分たちがこんなことをやり

ますよ。それに賛同してくださいが一般的な考え方。退職校長が自分たちで取り組めばいいのではないか。まず、自分たちで取り組んで、やりたいことを明確にすべきである。

(委員) いったん教育委員会に要請し、決定したら全部を任されてしまう可能性がある。自分たちが言い出す以上自分たちが責任をもってすべきである。

(委員) そもそもどこから意見が出てきたのか。

(教育長) 退職校長会から要請があったもの。退職校長会は全国的な組織であり、全国的な取り組みとしているようである。他の地域のように学力・教育力の向上のために学習会や塾をやるので賛同してほしいなら分かるが、具体的な提案はない。ある程度任される内容となってしまうような内容である。

(委員) どういうことをやるかは地域で考えろということか。

(教育長) どういうことをやるかは明示されていない。疑念を持たれる。

(委員) 教育委員会でやってくれではなく、地域でこんなことをやるから賛同してほしい。それからお互いが連携して事業に取り組むということなら地域でまとまりが出て強いものとなっていく。「とっとり教育の日」を制定することで何かしなければいけない、何かしなさいでは縛られてしまいいいものとならない。

(委員) 「とっとり教育の日」を制定することで、取り組みの自由度がなくなり縛られることにつながる。この事柄に対して、お互いがけん制するようなことがあってはいけない。教育については、地域ごとに様々な取り組みができるはずであるし、そうあるべきである。

(委員長) 委員会としては「とっとりの日」というものを設定しなくてもいいと考える。

(委員) 県教委・知事協定書について、数値的な目標、地教委との締結は。

(教育長) 地教委の取組みがなければ指標の達成は出来ないが、地教委とは協定を結ぶものではない。

(委員長) 大津市の件を受けてのものと考えられる。

(委員) 時期に乗ったものではないか。本来やるべきことはある。確認するものならば分るが、やっていることはおかしいと思う。

(教育長) 県も急々で進んだもの。

(委員) ますます地教委がおいてけぼりにされる。外に出ている。われわれがしなければいけないことをしている。

(教育長) Q-Uの活用、検証。

(委員) 地教委のやっていくことが明確になったわけではない。

(委員) 協定は単年で考えることなのか。Q-Uは単年だが。

(教育長) 平成25年度は県が10校を指定して点検、市町村はない。

(委員) 違うところにエネルギーを注いでいる。市町村がやるべき。県はまとめ役。

(委員長) 県はやりすぎ。

- (教育長) 市町村では話し合いをし、県と市町村の立ち位置を確認していく。
- (委員) 事故、体罰がなぜ起こってしまうのかを議論しないといけないのでは。何が原因かを追求してみるべきではないか。
- (教育長) ①はいかんともしがたい。②前の癖があるわけではない。前任校が荒れた時に苦労したようだ。③～⑤は前方不注意。⑥は違うことを考えていた。
- (委員) 通勤していることを忘れるくらい違うことを考えていたということを調査する必要があるのでは。プレッシャーを感じていることを取り除くことをしないといけないのではないか。仕事の配分を考えるなど取組んでは。
- (教育長) 組合との話し合い。仕事の多忙感を感じている。現場の実態を見せてはどうか。
- (委員) 学校の多忙感は当たり前。多忙感を取り除く感覚を持って取り組んでほしい。違うことが出来ると思う。
- (委員) 省けるところはどこにあるか考えてやって欲しい。忙しさを軽減する方法も考えてみてはどうか。
- (委員) 大栄小計画訪問では先生は多忙といわれる。こどものためにと感謝している。全国的なことだとは思いますが、テレビでは早く帰る工夫、話し合いをしているところもある。そういうところを学んで取組んではどうか。負担を減らしてあげてはどうか。
- (委員) 学校ボランティアが入ることはないか。
- (委員) 地教委が苦しめているところがあるかもしれない。
- (委員長) どこも忙しい。仕事のメリハリが必要。あれもこれもしたいと思うことがある。気になってしまう。考え方を変えなければならない。取り組むべきものを明らかにする。地教委からの事務は管理職が行う。
- (委員) 経費を多く使っていることを理解してもらうことも必要。柔軟なものの考え方をもってほしい。
- (委員長) ことが起こったら全職員へ朝礼で話をし確認することとしていた。常々話をするようにしていた。
- (教育長) 教育連絡会で伝える。

#### 教育総務課長

- ・ 湖南省教育委員の来町について
- ・ 教育委員の視察研修について
- ・ 教育委員会の開催について
- ・ 就学時健康診断の実施について
- ・ 学校等行事について
- ・ 計画訪問の実施について
- ・ 教育委員会の開催について
- ・ 湖南省いじめサミットへの参加について

※平成25年度予算要求。

- ・北条小PTA広報紙文部科学大臣表彰について

※最も良い表彰、平成6年から取り組み。

- ・小・中学校間の交流について

※つながりの推進を図る。

#### 生涯学習課長

- ・宝くじ文化講演会の開催について
- ・第2回北栄町コーラスフェスティバルの開催について
- ・北条歴史民俗資料館企画展について
- ・第8回北栄町美術展について
- ・就職差別撤廃に向けた要請企業訪問について
- ・北栄町図書館まつりについて
- ・北栄町部落差別をはじめあらゆる差別をなくする総合計画審議会について
- ・第6回北栄てくてくウォークについて
- ・第7回北栄町駅伝競走大会について
- ・北栄町人権フェスティバルについて
- ・北栄町大栄地区・北条地区女子バレーボール大会について

### 3 議 事

議案第64号 準要保護児童生徒の認定について

※原案のとおり承認。

議案第65号 準要保護児童生徒の認定取消について

※原案のとおり承認。

### 4 協議事項

- ・町長と教育委員が語る会の開催について

※実施する方向で準備する。

### 5 報告事項

- ・平成24年12月北栄町議会定例会一般質問について

(委員) 前田寛治の絵は町として総合的に考えてはどうかと思う。

(教育長) 歴民と青山ふるさと館を結んで生田常設展を作ったが連携集客出来たかということそうでもない。前田寛治の絵の展示に際しては改善を加えないと難しい面もある。

(事務局) 青山剛昌ふるさと館について、入場料を取っている。その際に2階は前田寛治の絵となると課題が出てくる。物販の場所は契約があるため、現在は困難。図書館者の車庫は民具の展示を予定している。

- ・任期満了に伴う人権擁護委員の選任について

- ・平成24年度後期同日公開参観日のまとめについて

(委員) 「●」は保護者が書いたものか。どのような状況なのか。

(事務局) 保護者アンケートをそのまままとめたもの。

- ・平成24年度全国学力・学習状況調査の結果概要の公表について

(委員) 参加したがそういう傾向にあったということか。

(委員長) 学力テストについては、特段悪くないが。

(教育長) 特定の学校が低いということを議員は言われているのではないか。

(委員長) 理科は今年からか。

(事務局) 今年から実施。来年は悉皆で行われる。

(委員) 町民は見てわからない。伝わらない。内に隠れたところは知っているからわかるが、知らない人は全然伝わらない。

(委員) 分りやすい言葉で伝えられないか。「領域」なんかは分からない。

(委員) 教科ごとに出したらどうか。

(委員長) 町報で町民に伝えて、地域、家庭で取り組めるようにしたいのは分かるが、これでは専門すぎて伝わらない。

## 6 その他

- ・次回教育委員会 定例会 12月21日(金)午後3時00分から